

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞
KANAKAI

最新IoT技術触れる

富士通IoTプロダクツ視察

TRYプロジェクト



視察に参加したメンバー

工業部会TRYプロジェクト(吉田英訓委員長)は10月26、27日にかけて、宿泊視察会を実施。工業部会などから16名が参加した。

工業部会の16人参加

視察した「(株)富士通IoTプロダクツ」は、富士通製のメインフレームやUNIX、基幹IT、サーバー、ストレージシステムなどを製造している。国内外に供給する富士通の基幹工場拠点として、富士通とPFUのコンピュータシステム製造部門が分離独立して設立。当初より「QCDの追求による顧客満足度の向上」を事業方針として、フレキシブルな製造体制の確立のほか、製造基盤の整備、生産体制の合理化を推進している。

T技術の活用状況を中心に視察。具体的には、作業指示書のポータブル化や簡易作成を可能とした作業ナビ、作業ナビに連動し必要な部品の所在を知らせるキットリングナビなど最新技術を見学した。参加者たちは各技術の説明に熱心に耳を傾け、活発な質疑が行われていた。なお、TRYプロジェクトでは2019年1月に鹿児島県の視察が予定されている。



さまざまな最新技術に触れた参加者

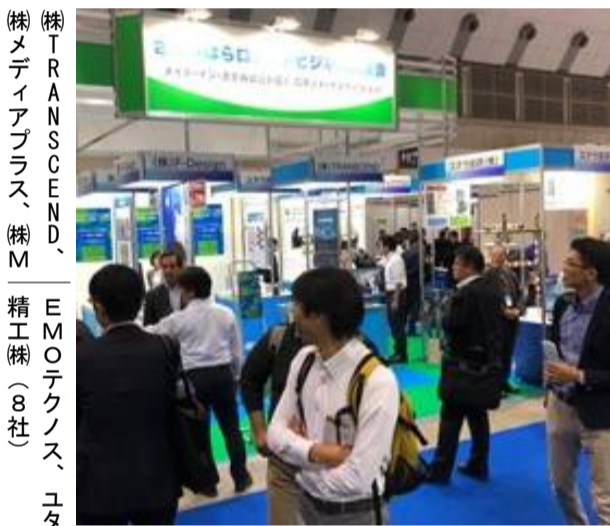
相模原市 トライアル発注 12社13製品認定 販路拡大など支援

相模原市は、市内中小企業の優れた製品の販路開拓を支援する今年度の「トライアル発注認定制度」で、12社13製品を認定した。第9回目となる今年度は13社14製品の応募があった。市は今後、カタログ作成や展示会出展、広報紙掲載などで、認定製品の販路構築を支援する。さらに一部製品を市が試験的に購入し、評価していく。

ロボ協が出展

ブースで実演、注目集める

工業部会の会員企業を中心に構成される、さがみはらロボットビジネス協議会(金沢勇会長)は、10月17日、19日に東京ビッグサイトで開催された、「ジャパンロボット



出展したロボ協ブース

は、産業用ロボットなどを実演。多くの来場者が関心を示していた。なお、出展企業は次のとおり。愛知産業(株)、F-Design、大沢工業(株)、ステラ技術(株)、同協議会のブースで

市と協議所がWRSに出展
相模原市と相模原商工会議所は、市内のロボット事業のPR活動の一環として、「ワールドロボットサミット2018(WRS)」に出展した。WRSは、ロボットの活躍が期待されるさまざまな分野で、世界中から集結したチームがロボットの技術やアイデアを競う競技会「ワールドロボットチャレンジ(WRC)」と、ロボット活用



さあ、5年後の未来を見に行こう。

新規会員募集中 近未来技術研究会

相模原商工会議所工業部会